



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 エンシュウ株式会社  
コード番号 6218 URL <http://www.enshu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

(氏名) 土屋 隆史  
(氏名) 勝倉 宏和

TEL 053-447-2111

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	15,194	3.6	230	△62.9	87	△86.0	7	△98.7
26年3月期第2四半期	14,673	4.8	622	△35.6	625	△7.2	566	△7.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △190百万円 (△125.9%) 26年3月期第2四半期 735百万円 (18.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.12	—
26年3月期第2四半期	8.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	35,839	7,427	20.5	116.38
26年3月期	35,965	7,905	21.8	124.03

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,344百万円 26年3月期 7,827百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,700	△1.2	440	△69.5	120	△92.3	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	63,534,546 株	26年3月期	63,534,546 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	425,359 株	26年3月期	423,175 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	63,109,937 株	26年3月期2Q	63,131,995 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調に推移し、欧州においても景気回復基調が続いている一方で、中国や東南アジアは軟調に推移しました。

わが国の経済においては、消費増税の反動が懸念される中、政府の経済政策や円高の是正による輸出の持ち直しにより回復基調をもって推移しました。

このような情勢の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、輸送機器関連事業部門がやや減少したものの、工作機械関連事業部門が増加したことにより15,194百万円（前年同期比3.6%増）となりました。損益につきましては、営業利益は230百万円（前年同期比62.9%減）となり、経常利益は87百万円（前年同期比86.0%減）、四半期純利益は7百万円（前年同期比98.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

工作機械関連事業部門におきましては、アジア地域が堅調に推移する中、欧米地域の売上回復を受けて、売上高は9,691百万円（前年同期比10.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は441百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

輸送機器関連事業部門におきましては、ベトナム向け設備売上の剥落により売上高は5,463百万円（前年同期比6.7%減）となり、セグメント損失（営業損失）はベトナム現地法人の創業赤字計上等により238百万円（前年同期は営業利益220百万円）となりました。

その他部門におきましては、不動産賃貸業により売上高は39百万円（前年同期比0.0%）となり、セグメント利益（営業利益）は29百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し、35,839百万円となりました。この主な要因は売上債権が2,526百万円増加したものの、現金及び預金が1,108百万円、たな卸資産が1,197百万円、その他の流動資産が218百万円、有形固定資産が187百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ351百万円増加し28,412百万円となりました。この主な要因は長期借入金が915百万円減少したものの、短期借入金が901百万円、退職給付に係る負債が218百万円、その他の流動負債が240百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ477百万円減少し、7,427百万円となりました。この主な要因は退職給付に関する会計方針の変更により利益剰余金が286百万円減少したこと及び為替換算調整勘定が301百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は20.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月1日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の基礎となる期間の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく決定方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する決定方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が286百万円増加し、利益剰余金が286百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,829	1,721
受取手形及び売掛金	5,404	7,931
商品及び製品	3,881	3,305
仕掛品	4,739	4,136
原材料及び貯蔵品	1,281	1,262
その他	2,049	1,830
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	20,178	20,180
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,387	7,387
その他(純額)	7,782	7,595
有形固定資産合計	15,170	14,982
無形固定資産		
その他	206	249
無形固定資産合計	206	249
投資その他の資産		
その他	495	511
貸倒引当金	△84	△84
投資その他の資産合計	410	427
固定資産合計	15,787	15,659
資産合計	35,965	35,839
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,292	6,230
短期借入金	5,818	6,719
未払法人税等	94	65
賞与引当金	403	408
その他	1,877	2,117
流動負債合計	14,486	15,541
固定負債		
長期借入金	7,885	6,969
役員退職慰労引当金	46	15
退職給付に係る負債	3,187	3,406
資産除去債務	288	290
その他	2,167	2,189
固定負債合計	13,574	12,870
負債合計	28,060	28,412

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,640	4,640
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	△775	△1,054
自己株式	△63	△63
株主資本合計	5,032	4,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
繰延ヘッジ損益	—	△24
土地再評価差額金	3,409	3,409
為替換算調整勘定	320	18
退職給付に係る調整累計額	△936	△815
その他の包括利益累計額合計	2,795	2,591
少数株主持分	77	83
純資産合計	7,905	7,427
負債純資産合計	35,965	35,839



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	14,673	15,194
売上原価	12,571	13,414
売上総利益	2,101	1,779
販売費及び一般管理費	1,479	1,549
営業利益	622	230
営業外収益		
受取利息	17	2
受取配当金	1	0
受取賃貸料	19	13
持分法による投資利益	0	1
為替差益	97	19
その他	58	24
営業外収益合計	193	61
営業外費用		
支払利息	157	143
その他	33	61
営業外費用合計	190	204
経常利益	625	87
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産廃棄損	0	8
特別損失合計	0	8
税金等調整前四半期純利益	625	79
法人税、住民税及び事業税	95	60
法人税等調整額	△30	0
法人税等合計	64	61
少数株主損益調整前四半期純利益	560	18
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5	11
四半期純利益	566	7

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	560	18
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	0
繰延ヘッジ損益	—	△24
為替換算調整勘定	168	△306
退職給付に係る調整額	—	121
その他の包括利益合計	174	△209
四半期包括利益	735	△190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	732	△196
少数株主に係る四半期包括利益	2	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	625	79
減価償却費	391	502
負ののれん償却額	△2	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	74	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	53
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9	△30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	0
受取利息及び受取配当金	△18	△2
支払利息	157	143
為替差損益 (△は益)	△5	△1
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△1
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	△0
有形固定資産廃棄損	0	8
売上債権の増減額 (△は増加)	1,892	△2,541
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△145	1,069
仕入債務の増減額 (△は減少)	△719	104
未収消費税等の増減額 (△は増加)	107	217
その他	△158	27
小計	2,190	△367
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△158	△142
法人税等の支払額	△272	△90
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,761	△597
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△864	△427
有形固定資産の売却による収入	1	0
関係会社出資金の払込による支出	△221	—
関係会社長期貸付による支出	△778	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,863	△426
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	1,380
短期借入金の返済による支出	—	△270
長期借入れによる収入	1,800	100
長期借入金の返済による支出	△1,369	△1,224
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△16	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	413	△53
現金及び現金同等物に係る換算差額	72	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	384	△1,108
現金及び現金同等物の期首残高	2,423	2,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,807	1,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,778	5,855	14,633	39	14,673	—	14,673
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	11	28	—	28	△28	—
計	8,794	5,867	14,662	39	14,701	△28	14,673
セグメント利益	376	220	596	29	626	△4	622

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	工作機械 関連事業	輸送機器 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,691	5,463	15,154	39	15,194	—	15,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	14	—	14	△14	—
計	9,705	5,463	15,169	39	15,208	△14	15,194
セグメント利益又は損失(△)	441	△238	203	29	233	△2	230

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。